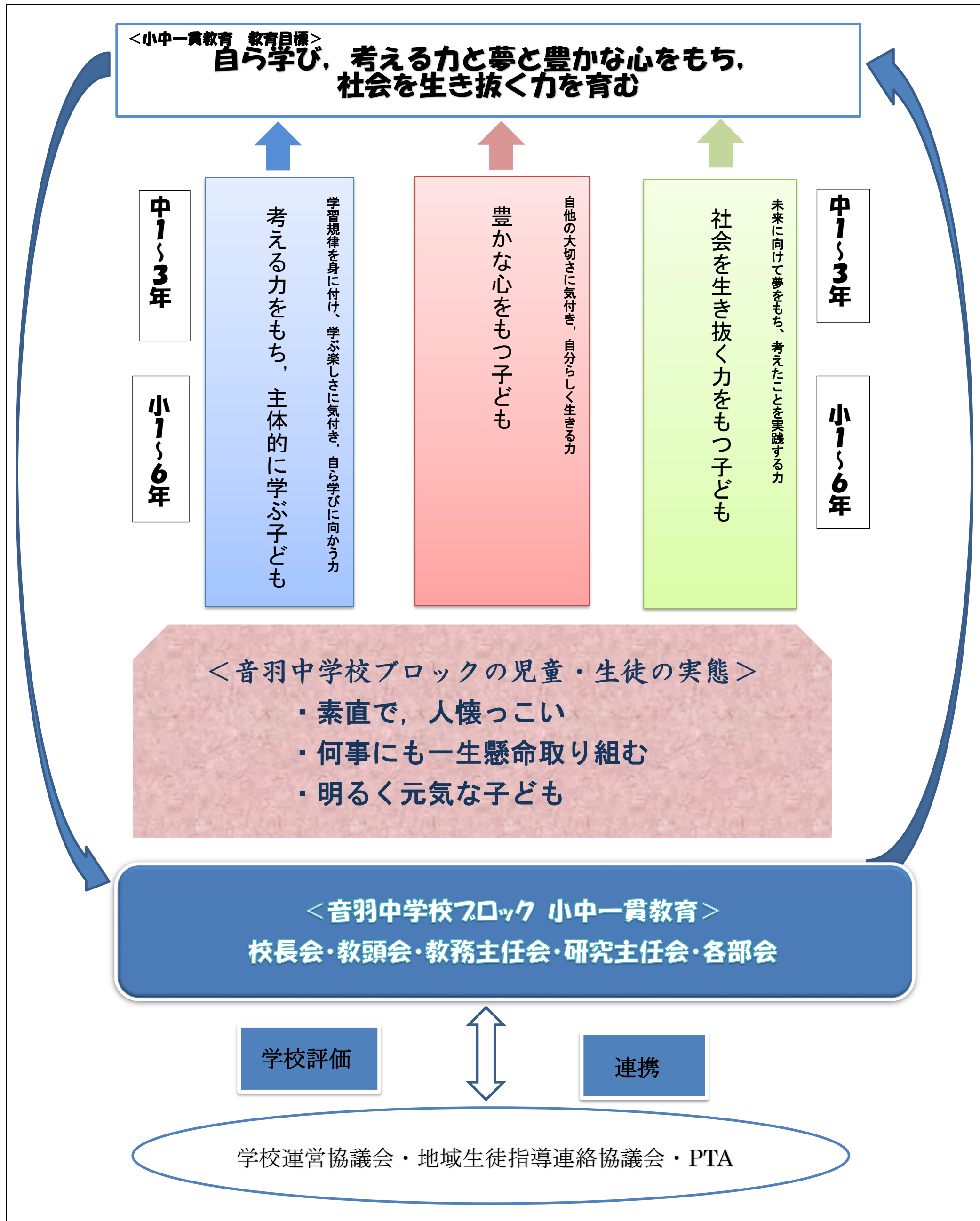


音羽中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図



軸となる取組・活動

義務教育卒業時につきたい力 考える力をもち、主体的に学ぶ子ども 学習規律を身に付け、学ぶ楽しさに気づき、自ら学びに向かう力 ・基礎的、基本的な知識・技能を習得し、活用する力をつける。 ・問題解決ができる力をつける。 ・将来展望を持って、目標を達成しようとする力をつける。								
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
学年または学年区分ごとにめざす姿 学習規律を身に付け、学ぶ楽しさに気づき、自ら学びに向かう姿 ・学習規律を身につける。 ・発表時の話型を身につける。 ・話す声の大きさや速さを意識して話す。 ・宿題をやりきる。 ・学習課題を見つける。 ・理由や根拠を明確にしなが ら、相手にしっかり伝える。 ・自ら進んで宿題をする。 ・自主学習に取り組み、自分の 課題や発展的な問題に取り組 む。 ・人の意見を聞いて、自分の考 えを深める。相手に自分の考 えを伝える。 ・自らの課題を見つけ、計画的に学習に取り組む。 ・相手の意見を聞き、自分の考えを的確に表現する。 ・自分の将来について展望を持って、努力し、進路を掴む努力を惜しまない。								
＜中学校ブロックとしての取組＞ ・各教科部会で、9年間を見据えた学習課題の検討を進め、カリキュラムを作成する。 ・小学校・中学校間での授業研修を深める。 ・小・小連携も深め、学習規律のルールの確認等を進める。 ・学習確認プログラムや全国学力・学習状況調査などの結果の分析や課題等を小中で共有する。								

義務教育卒業時につけたい力								
豊かな心をもつ子ども 自他の大切さに気づき、自分らしく生きる力								
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
学年または学年区分ごとにめざす姿 6年生に憧れの姿を学ぶ。 ＊決まり事やルールを守る。 ＊友達と仲良くする。 ＊社会のルールを守る。 ＊集団生活を大切にする。 ＊相手の立場や気持ちを考えて行動する。 ＊自分の役割に責任を持って行動する。 ＊社会のルールやマナーを守る態度を養う。 ＊主体的に行動し、自分の行動に責任を持つ。 ＊相手を思いやる態度を養う。 ＊社会に貢献する態度を養う。 最高学年としてのリーダーとしての姿（自己有用感） 小・中学生のリーダーとしての姿（自己有用感）								
＜中学校ブロックとしての取組＞ ・児童会・生徒会を中心とした交流学习等の機会を実施する。（読み聞かせ・あいさつ運動等） ・小学校と中学校の異年齢交流の実施の検討を進めていく。（学習発表会や合唱コンクールなどの参観や参加などの検討など） ・児童会活動・生徒会活動の中で一緒に取り組める事柄を検討する。								

義務教育卒業時につけたい力 社会を生き抜く力をもつ子ども 未来に向けて夢をもち、考えたことを実践する力 ・自らの課題を見つけ、課題を解決する力をつける。 ・社会的事象を様々な角度から考え、判断する力をつける。 ・自分の将来に向けての考えをもち、思いを伝える力をつける。								
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
学年または学年区分ごとにめざす姿 *地域を知ることにより興味関心を高める。 ・課題を設定しながら、調べ学習や体験学習を通して社会に目を向ける。 ・自分の将来展望を持ち、思考力・判断力・表現力の力をつける。 ・課題設定・探究活動に取り組み、調べ学習や言語活動をもとに、協働学習の力をつける。								
<中学校ブロックとしての取組> ・9年間を見据えたカリキュラムの検討を行い、一貫した力をつけるための小学校3校で取り組んでいける内容の検討を行う。								

学びの約束・ルール

項 目	小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
家庭学習	学年 × 10分 ・保護者と一緒に取り組み、確認する。 ・最後まできっちりとやり切る。 ・決まった時間に取り組む。						・自ら課題を見つけ、学習方法や学習内容を考え、継続して、実践する。 ・計画的に、復習を中心に取り組む ・学習する中で質問や疑問が出たときには、先生等に聞き、解決していく。		
学習態度	・正しい姿勢で座る。 ・元気よく返事する。 ・鉛筆を正しくもち、机の上を整理する。 ・話す声の大きさや速さを意識して話す。 ・発表時の基本的な話型を身につける。「はい〜です。」 ・話し手の方を見て聞くことを習慣づける ・しっかり手を挙げる。		・理由や根拠を明確にしながら相手にしっかりと伝える。 ・学習課題を見付ける。 ・グループ等で話し合いを進めることができる。 ・話型を提示することで、主語、述語を意識させ、自分の思いを伝える。 ・自分の考えと「似ている」「違っている」などの話型に着目して聞く。		・相手意識をもって自分の考えを伝える。 ・人の意見を聞いて自分の考えを深めたり広めたりする。 ・質問したり意見をまとめたりする司会ができる。 ・自分と友達の見解の共通点、相違点を聞き比べながら、よりよい見解を考える。 ・友達の考えに対して、気になるところは質問できるようにする。 ・相互指名をして、自分達で話し合いができるようにする。		・学習規律を確立する。 ・黒板、机上の授業準備、号令など、休み時間とメリハリをつけ、授業に集中できる環境をつくる。 ・与えられた課題に対して、積極的に取り組む。 ・分からないことにあきらめず、質問がある場合は、積極的に聞き、解決しようとする。 ・お互いに教え合える雰囲気をつくる。 ・話をする人を見て、正しい姿勢で、必要に応じて、メモを取りながら聞く。 ・相手の意見を受けて、自分の考えを的確に文章や言葉で表現する。		
ノートづくり	・使ってほしい言葉をたくさん示すことで、表現を広げる。 ・書き方の例を示すことで、書くことに自信をもつ。 ・様子を表す言葉やことばのつなが方を学び、思いを文で表現できる。		・書き方の例を示すと共に、書く時間を確保する。 ・「はじめ」「中」「おわり」それぞれに書く内容をおさえてから書く。 ・つなぎ言葉を意識して書く。		・図や絵など、文章＋αで書けるようにする。 ・説得力がある文章になるよう、文章構成に気をつけてかく。 ・自分と他者との表現の違いに気づき、よりよいノートの活用を考えていく。		・学習内容を整理し、見直しに活用できるノートづくりを心がける。 ・先生や友達の発言、自分の考え、その時間のポイント、間違えた理由などを分かりやすくまとめる。		